

令和6年度8月

人権一口講座



「地球沸騰化時代」

みなさんは、地球沸騰化時代という言葉を目にした事がありますか？

地球沸騰化とは、地球温暖化が進行し、地球の平均気温が急激に上昇することで、地球がまるで沸騰しているかのようになり熱くなる現象だそうです。この表現は、国連のアントニオ・グテーレス事務総長が、2023年7月に観測史上最高記録を更新した世界平均気温と猛暑による災害の大規模化を受けて、私たち人類に危機感を伝えるために用いました。

地球沸騰化は、ヒトが、文明などといった形で行っている人間活動により排出された二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが、大気中に蓄積し、地球の平均気温を上昇させることが原因とされています。

2010～2019年の世界平均気温は、1850～1900年と比較して約1.1度上昇しており、その主な原因が人間活動であると言われています。

地球沸騰化は、自然災害の多発、熱波による健康への影響、感染症の蔓延、水やエネルギーなどの資源問題、紛争の増加など、人々の生活に直接的な影響を及ぼします。これらはすべて、人々が健康で安全に、社会において幸福な生活を営むために欠かすことのできない基本的な人権を脅かす(侵害する)重大な問題です。

さらに、温室効果ガスの排出量が少ない発展途上国や、次世代のこともたちが、温暖化の影響や被害を受けるといった「不平等」や「不公平」といった国家間および世代間の人権問題として認識されています。

地球沸騰化時代に必要な対策は、再生可能エネルギーの主力電源化、建物の高断熱化を含めた省エネ、自動車のゼロエミッション化(温室効果ガスを排出しない車)、CO₂排出削減策の強化、大量消費社会から循環型社会への転換などをあげることができですが、環境の面からだけでなく、人権問題として捉え、その影響を軽減するための取り組みが求められています。(急務です。)

エネルギーの節約、リサイクルの推進、公共交通機関の利用など、日常生活の中で環境に配慮した選択を心がけることは、地球の未来だけでなく、人々の権利を守るためにも大変重要です。私たちの行動が地球の未来や人権に深刻な影響を及ぼすという認識を強く持ち気候変動に関する知識を深め、地球環境に配慮した行動を取ることが、大切になるのではないのでしょうか？

(熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」令和6年度8月号より)

短いメッセージ おちこんだりしても みんなの声を
聞いただけで ぼくの心は 立ち上がる

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 砂取小学校 4年 磯部 優太さん(令和5年度の作品より)